

平成 23 年度経営企画会議（案）

一般社団法人日本地球惑星科学連合

1. 開催日時 平成 23 年 9 月 22 日（木）
午後 3 時 00 分から午後 6 時 25 分
2. 開始場所 東京大学理学部 1 号館 843 号室
（東京都文京区本郷 7-3-1）
3. 出席者 出席者数 9 名
事務局 3 名
4. 議長 木村 学
5. 出席者 木村 学
大谷 栄治
濱野 洋三
大村 善治
川幡 穂高
西 弘嗣
中村 正人
田近 英一
加藤 照之

午後 3 時、会長木村学は議長席に着き、審議に入った。

6. 議題

(1)選挙関連（大村理事）

地球惑星総合セクションが無投票で代議員が決まる為、その為に選挙関連のシステムを変えるか否かに関し議論があった。

大村総務委員長と事務局が相談して決めることになった。

その際もしシステム変更する場合、その為に発生する JTB Communications に支払うことになるシステム変更費用に関して、西財務委員長が 5～10 万円なら支出可能であることが確認された。

定款を読むと理事は投票できないのではないかと思われる文言があるが、中村理事から鈴木弁護士に確認していただき、「理事が話し合って代議員を決めてはいけない」という意味

で理事に投票権はあることが確認された。

セクションプレジデント選挙に関してはシステムはあるが、今回は使用していないので、検証を含め、事務局で確認することになった。日程に関しては資料を参照。

(2)2012年大会準備について（濱野理事）

事務局よりスケジュールに関して説明があり、投稿期間が前年度より1週間程度延びている事、コンビーナーガイドラインに国際セッションに関する記述がなかった為、加藤国際学術委員長代理にお願いして追加した事が説明された。コンビーナーガイドラインに関しては添付資料を参照。

2012年大会における変更点（濱野理事）

1)2011年大会において8:30-18:30 8セッションだったものを2012年大会においては可能であれば9:00-17:00 6セッションにする。

その為に2会場を2分割することと、使用していなかった1部屋を使用することにより15会場から18会場に会場数を増やす。

又、ポスター講演に3分間の口頭発表をつけることにより、口頭とポスターの割合を1:1にすることを目指す。ポスターコアタイムも学生発表賞のジャッジをしなければならない都合もある為、コンビーナーに選択してもらうことができるようにする。

2)参加料金に関しては2000円から3000円の値上げは視野に入れているが、ジャーナルの発行など新たなアクションがないと理由づけが難しい為、2012年度は昨年と同じ料金設定にすることが確認された。会費を値上げするのか参加費を値上げするのかについても川幡理事と西理事で今後話し合って2013年度以降の体制を考えていくことになった。

3)2012年大会も国際セッションの割合として30%を目指すこと、ユニオンを充実させていくこと、東日本大震災に関するセッションも2012年度も継続して行うこと、2012年大会開催日程が丁度金環食に当たるので、アウトリーチ委員会が中心となってイベント的な活動を行うことを検討していくことになった。

4)ジオパークに関して（濱野理事）

ジオパークにはセッションと審査委員会の2つがあり今はパブリックセッションに分類されている為すべて無料になっているが公開審査は無料ではよいがセッションに関しては有料にしたかどうかと提案があった。

中心になって活動されている渡辺真人先生、濱野理事、田近理事、中村理事でなるべく早い時期に話し合いを持つことができるよう日程調整を事務局がすることになった。

(3) 新 Web サイト立ち上げの報告（田近理事）

新 Web が立ち上がった旨説明があった。

運用方法に関しては本当は自発的にやってくれる地球惑星科学分野の人にやってもらいたいが、当面は学生のアルバイトにアウトソーシングするやり方で運用していく方針であることが説明された。専門的な知識があり、英語もできる人となるとなかなか難しいが、今回代議員に立候補されている横山広美先生などを中心に学生などからリクルートしていくことを進めていくことになった。

その際、西財務委員長より自分で考えて日英責任もって運用してくれる人であれば、年間 150 万円位なら捻出できる旨説明があった。

(4) 義捐金執行方針

前回の理事会を受けて情報提供のあった線量計に関し、畠山理事に全権を委任して早めに購入し、配布してもらうよう事務局より依頼することになった。

(5) ジャーナル関連（大谷理事）

前回大気海洋セクションより質問のあった Open Access に関して大谷理事より説明があった。Open access について、「Creative Commons」を資料として、ライセンスなどについて説明があった。

基本的に、これまでの経緯を反映して、Review 誌を作ること、Copyright は著者にあること、Ownership は JpGU にあることは確認された。一方、今回提示された「Creative Commons」については、JpGU あるいは JpGU の会員が論文を利用する点、例えば、出版済論文の再編集等に関して、出版社から厳しい制約が課されているようにも読めるので、現在交渉相手となっている Springer に質問して、回答を経営企画会議に報告することとなった。また、今後の具体的な議論や将来の展望を判断するためには、「ジャーナルのタイトル、編集委員会のメンバー、当面の数年間のレビュー論文のリスト等」が必要とされるので、これらの情報案を次回の経営企画会議に報告することとなった。

(6) JpGU (JPGU) の商標登録取得について

41 類で取得しようと思うが、トータル 1 区分で 15 万円から 25 万円、ロゴも入れると最大 60 万円かかることも考えられる。申請完了までに 6 カ月程度かかるので、実現可能かどうか相談できる状態にする為、事務局で具体的に調査することになった。

(7) 公益認定について（谷上事務局長）

8 月 12 日に電子申請が完了

8 月 22 日に受理メールを受領

9 月 21 日 第一段階が終了

役員報酬についてなど何点か質問事項がきているので、鈴木弁護士、甲良先生に相談し、来週中には回答することになった。

(8)財務諸表（正味財産増減計算書、収支予算内訳書）

西財務委員長より上記２表について説明があった。

9月末で締めた後、財務委員会、事務局で話し合っ、分析し、値上げの根拠などを示したいと思っている旨説明があった。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後 6 時 25 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成する。

平成 23 年 9 月 22 日